



じょうもん 縄文とSDGs

えすでいーじーず



北海道庁 縄文世界遺産推進室 特別研究員の阿部千春先生に、縄文と最近話題のSDGsについて聞いてみました

- 👉 阿部先生、「移動生活」から「定住生活」の縄文時代になって、一体何が変わったの？
- 👉 食料や暮らし方が変化するだけでなく、実は心の変化も大きいんだよ。
- 👉 あ！もしかして恋愛事情とか？
- 👉 あ〜、それもあるけどね（笑）。例えば、墓地をつくるようになったこととか。
- 👉 え？なんで墓地が？
- 👉 移動生活では、亡くなった仲間はその場所に埋めて、また移動するでしょ？だから墓地はできないんだよ。定住生活になってから、そこで亡くなる人たちの墓つまり墓地ができるんだ。集落のなかに「生きている人の空間」と「亡くなった人の空間」がつけられるようになったんだ。
- 👉 すごい！！
- 👉 それと、竪穴住居で家族と一緒に暮らすことによって、家族の愛情や社会の絆も醸成されたと思うんだ。そうした目で、本格的な定住の始まりを示す垣ノ島遺跡をみると、亡くなった子どものために作られた「足形付土版」に込めた親の思いも一層伝わってくると思うよ。
- 👉 そうだね、それはグッとくるな…（涙）
- 👉 いま国際社会が進めているSDGsにも「目標3：すべての人に健康と福祉を」という項目があって、「小児保健」の充実に取り組んでいるでしょ？縄文時代の人たちにとっても「生まれてきた子どもが元気に育って欲しい」という思いは同じなんだよ。
- 👉 そうかぁ。「新しい命にどう向き合ってきたか」ということも縄文から学べるんだね。<次号へ続く>

北海道・北東北の縄文遺跡群 デジタルアーカイブ

北海道・北東北の縄文遺跡群に関する情報(写真画像動画、調査研究成果等)を、誰でも無料でダウンロードすることができます。



<https://jomon-japan.jp/archives>

<北海道発> BACK NUMBER 縄文初心者むげやさしい縄文読本



JOBON

「縄本」のバックナンバーはこちらからダウンロードできます。

www.jomon-do.org/jobon

※本リーフレットは「北の縄文道民会議」公式サイトからダウンロードし、幅広くご活用（印刷、無償配布等）いただけます。ただし価格をつけての販売や内容の改変は禁じます。著作権は制作者に帰属します。詳細はwebサイトにてご確認ください。

<北海道発> 縄文初心者むげやさしい縄文読本【縄本 JOBON (ジョーボン)】vol.04「遺跡へ行こう」
発行日：2022年7月1日 / 制作・発行：北の縄文道民会議、ドニワ部 / デザイン・イラスト：種田 梓、上田 忠太郎、To.t
協力：縄文女子のみなさん、どぐるみちゃん



土儀と遺跡になかグッとくるおとなの部活

ドニワ部

JOBON に関するお問合せ
北の縄文道民会議
札幌市中央区大通東1丁目3中央バスターミナル2F
CBツアーズカンパニー内 TEL: 011-221-1122

世界文化遺産の縄文遺跡群に関するお問合せ

北海道環境生活部文化局文化振興課
縄文世界遺産推進室
TEL: 011-204-5168



北海道発

JOBON

縄文初心者むげ
やさしい縄文読本

遺跡へ行こう



vol.04

遺跡へ行こう

北海道全域にある約7000カ所を超える縄文遺跡。世界遺産の構成資産・関連資産となった道内7カ所の遺跡のほかにも、実際に見ることができるもの、調査を終えて土の中にあるもの、出土品だけが展示されているものも。いろんな遺跡に足を運んで、1万年前の縄文人の暮らしを感じ、縄文人が見ていた景色を見てみたい！
縄文女子オススメの、楽しくてちょっとマニアックな遺跡めぐりの極意をご紹介します。



POINT
まずは、遺跡全体を見渡してみよう！
縄文人にとってのシンボルになりそうな立派な山や川、日の出・日の入りの場所が見えてくるはず

POINT
縄文人の食に注目！
ここで何を採ってどうやって食べていたのか想像してみよう
近くに生えている植物、地形や出土品からいろいろ推理してみよう！

遺跡を痛めるからヒールはNG！
靴だけは歩きやすいもので。

POINT
竪穴住居跡では、中で何人位寝転がれるのか、間取りを想像してみよう！
縄文人の家族の姿や日々の生活が見えてくる気がするよ

POINT
体験できるプログラムやイベントがあったらぜひ参加してみよう！
縄文人になりきって思いっきり楽しんじゃおう！

POINT
おさわりOKの出土品は、ジャンジャン触ってみよう！（施設の人に確認してね）
縄文人と時間を越えた間接握手ができるよ！

POINT
何度も訪れよう！
季節や時間、お天気によって、遺跡の表情はびっくりするくらい変化するよ！
花々も草木も海や空の色も匂いも全然違うの！

POINT
ガイドさんがいたら、恥ずかしがらずにぜひ案内をお願いしよう！
おもしろいネタも満載、地元の方のお話こそが宝物☆

「定住生活」は人類史のビッグイベント

縄文遺跡群が世界遺産に登録された理由は、狩猟・採集・漁労を生業としながら「定住生活」を実現し、存続させたことにある。定住生活というと、なんだか当たり前のように思えるが、実は「移動生活」が圧倒的に長かった私たちホモサピエンスの歴史を変える一大イベントであった。
この生活形態の転換によって、人類の生活や精神文化は大きく変化することになる。現在、登録された遺跡は都市公園のように綺麗に整備されているが、そこから定住によって人類がどのように変化したかを読み解かなければならない。それが遺跡を見る力であり、遺跡整備の課題でもある。 C Abe

- POINT** 私は、触ってもいい出土品はどんどん触ってみよう！「間接的に縄文人と握手しているんだね」って先生に教えてもらってから、縄文人をすごく身近に感じられるようになった気がするの。
- POINT** それは素敵ね！
ほかにやってみよう！
- POINT** 遺跡でピクニックとかキャンプとか。真っ暗な夜の遺跡で星を眺めてみたいかな。同じ星空を縄文人も眺めてたのかなーとか思いながら。
- POINT** いて座の中には4千光年の星団があるんだって。ちょうど縄文時代に放たれた光が、今私達に届いているって、ロマンよね。肉眼では見えないけど（笑）
- POINT** 遺跡で開催されるお祭りやイベントにはできるだけ参加したい！縄文衣装で踊ったり土器を作って野焼きをしたり…。
- POINT** ワークショップも楽しいよね！
- POINT** 今回は世界遺産になった遺跡をみんなでまわってみたけど、実際行ってみたいのあった？
- POINT** 垣ノ島遺跡（※P3参照）は、とにかく敷地が広い！たくさん歩いて運動不足解消できそう。
- POINT** ホンモノの遺物を発掘できる体験はほんとに楽しいからぜひやってみよう！
- POINT** 大船遺跡（※P4参照）は、他では見られない深い竪穴住居跡が見どころ。なんであんなに深いんだろ？危なくない？
- POINT** 深いところだと2m位？実際見るとほんとに深いよねー。なにか意味があるのかしら？遺跡管理棟の軒下に無造作においてある大量の石皿はぜひ触ってみよう！
- POINT** えー、触る触る！
鷲ノ木遺跡（※P5参照）は、なんといっても森町名産「いかめし」にそっくりの「イカ形土製品」でしょ！あー、おなかすいてきた〜。

- POINT** もー、また食べ物ネタ！遺跡保全のためにストーンサークルを見学できる時期は限られているけど、絶対に見に行きたい遺跡よね。
- POINT** 遺跡の下を高速道路が通っているんだけど、トンネルを作る時、遺跡を守るために重機は使えないから、手掘りしたんですって！
- POINT** わー、工事したみなさんお疲れ様です！！高速を走る時はトンネルの看板を見逃さないようにしないと！一瞬だから！戻れないし。
- POINT** 入江・高砂貝塚（※P6参照）は、入江高砂貝塚館がリニューアルして、展示がとてもオシャレになったよね。2つの貝塚を見比べるのも楽しい！お散歩にもちょうどいい距離だし。
- POINT** 北黄金貝塚（※P7参照）は、フォトジェニック。海、真っ白い復元貝塚、竪穴住居、湧き水…どこを切り取っても映えるから、写真が上手になった気がするわ。
- POINT** デートにもぴったりね♪ウフフ
- POINT** キウス周堤墓群（※P8参照）は、季節折々で木々の色が変わるから、植物が好きな私はいつ行ってもほんとに楽しめる！
- POINT** 緑が目優しいし、マイナスイオンたっぷりで森林浴に行くにも良い場所だよー。疲れた現代人にオススメ（笑）
- POINT** どの遺跡でもそうなんだけど、学芸員さんやボランティアガイドさんがいたら、絶対解説をお願いしたほうがいい！見るだけじゃわからないストーリーやいろんな裏話を教えてもらえて、当社比100倍楽しめるから！！
- POINT** 当社比って…（笑）でも確かにそうかも。
- POINT** オススメポイントが際限なく出てくるわね。遺跡ってほんとに不思議。いまはそこに何もなくても、時を超えて縄文人の日々の暮らしが見えてきたり、縄文人に会っているような気持ちになるの。北海道には7,000を超える遺跡があるのよ。さあ、次は誰とどこに行く？

（つづく）

★【縄文女子の妄想トーク】は、縄文をこよなく愛する縄文女子たちの個人の主観に基づく妄想トークがメインになっています。学術的に正しいかどうかは置いておいて、素人目線の「こうだったのかな」「こうだったらいいな」という妄想ワールドを、どうか生暖かい目で楽しんでいただけたら嬉しいです。